

第 54 回運営会議（2005. 8. 24 開催）結果報告

2005. 8. 29 庶務発信

開催日時：	2005 年 8 月 24 日（水） 15:00～15:45
場 所：	カラスマプラザ 21 8 階 会議室 1
参加者数：	運営会議委員他 8 名（委員長、副委員長 2 名、琵琶湖部会長代理、木津川上流部会長、猪名川部会長代理、利水・水需要管理部会長代理、水位操作 WG リーダー）、河川管理者 3 名

1. 決定事項

- ・ 9 月の地域別部会に向け、本日の委員会までの河川管理者との各ダムに関する調査検討結果の意見交換を踏まえ、各部会長は担当するダムについての論点（今後議論すべき重要なテーマ）を整理するとともに、それに関連して各委員が精読すべき資料のリストアップを 9/3（土）までに行い、庶務に提出する。庶務はそれを委員及び河川管理者に連絡する。河川管理者には、それに対応した地域別部会での説明をお願いする。
- ・ 9 月の地域別部会では、5 ダムの調査検討結果についての検討を行う。整備シートに関連した進捗点検の作業は 10 月以降に各部会長の判断で進める。
- ・ 本日の委員会において、意見書とりまとめのためのワーキンググループ（仮称）設置の承認をうけた上、委員会終了後に第 1 回 WG の会議を開催する。メンバー以外の委員にもできるだけ参加してもらい、意見書作成のスケジュール等について議論する（委員のみの参加）。

2. 審議の概要

以下の議題について意見交換がなされ、「1. 決定事項」のとおり決定された。主な意見は以下のとおり（例示）。

① 第 45 回委員会の進め方について

- ・ 「住民と委員との意見交換会」の実施報告は、委員会として今後検討していく課題も含めて 1 人当たり 10 分を目途に報告していただく。
- ・ 審議 1) 「5 ダムの方針および調査検討内容に関する河川管理者との意見交換について」では、河川管理者から川上ダム、丹生ダム、天ヶ瀬ダム再開発の順に提供された資料の説明を受ける。説明に対して質問する形で、委員と河川管理者間のきめ細かな意見交換を行う。
- ・ 審議 2) 「意見書とりまとめのためのワーキンググループ設置について」は、前回の運営会議での決定事項の承認をうける。

② 委員会意見のとりまとめのスケジュールについて

- ・ 9/20（火）の運営会議では意見とりまとめの協議を行う予定である。
- ・ 委員が河川管理者から提供された資料を十分理解することが必要。委員が資料を読み込んでいないために、十分議論できていない面があるのではないか。
- ・ 今度の地域別部会は、十分に討論できるものにしたい。重要なテーマ 3～4 点に絞って討論するのが良いのではないか。
- ・ 委員と河川管理者間で意見交換すべきテーマを、各部会長がピックアップし、重要度の高いものについて意見交換するのがよい。
- ・ 環境に関しては、流域委員会以外の場での検討が進んでいるのではないかと。  
← 検討内容の信頼性に問題がある。流域委員会として独自に検討することが必要である。
- ・ 河川管理者からの検討資料が出尽くしているのかどうか。出尽くした上で、それを前提に質問・議論する必要がある。
- ・ 各ダムの特性が異なるので、各部会長が論点を整理する必要がある。
- ・ 委員会としてダム問題対応が忙しく、ダム以外の問題が放置されている。地域別部会の役割の半分は、整備シートの内容に関連した進捗点検ではないか。
- ・ 水位操作 WG は、丹生ダムとの関連性が強い。水位操作 WG の検討を進めることも必要ではないかと。  
← 水位操作 WG の活動については、委員会終了後の WG で議論すればよい。

③ その他

- ・ 河川管理者からの提供資料はできるだけ A4 サイズに統一して欲しい。
- ・ 委員から追加視察の希望があった「淀川本川コース」については、これから調整を行う。
- ・ 河川管理者による現地視察の説明はもっと巧みにやって欲しい。どこを何のために見るのか、参加委員は何を見たいのか等を十分考慮して説明の準備をして欲しい。出発前に 30 分程度のまとまった解説を受けた上で視察するのが良いのではないか。

以上

※このお知らせは委員の皆様にも主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。